

# 中部経済新聞

THE MID-JAPAN ECONOMIST

2008年(平成20年)  
11 / 4  
火曜日(日刊)  
◎ 第20914号  
© 中部経済新聞社2008

(5) 2008年(平成20年)11月4日 火曜日

中 部 経 済 新 聞

○…「日本は、台風が多いなどの理由から、『風力発電』の導入は活発ではない。ただ、環境保護の高まりに応じて、国内の需要は増えると思込んでいる」と話すのは、熱処理加工で世界最大手、英国のボディコート・インターナショナルの日本法



## ★ 風力発電の需要増える ★

人、ボディコート・ジャパン（名古屋市西区）社長のジュリアン・ベイショアさん。

○…巨大な風力発電の歯車（ギア）や3本の羽（タービン）の熱処理加工



は、主に「欧州頼り」が現状だ。2010年をめどに、国内工場を所有・建設する方針を示している、ボディコート・ジャパン。「当社なら、巨大なギアやタービンの熱処理加工も可能」とし、自動車、航空機に次ぎ、風力発電にも力を入れていく方針だ。